AA日本ニューズレター

No.184

日本のAAについて感じていること、期待していること（一応援団として）

+:−+:−:+:−:+:−:

そこで、私からの提案です。自分に伝えられた音信を、今なお苦しんでいる大勢の仲間が必要としていることを思い起こし、身近な人や親せき、友人、職場の人にパンフレットを渡してAAのことを伝え、AAに行っていることを伝えましょう。AAとは何かについて隠すことなく伝えましょう。関心があるようならばミーティング場の地図を渡しましょう。同じミーティング場を使っている他の団体の方にもパンフレットを渡してAAのことをきちんと伝えましょう。

伝えるチャンスはたくさんあります。いつも意識し、準備をし、目ざとくありましょう。例えば保育所、幼稚園、保健所、いつも行くお店、床屋さん、役所、町内会、PTA、サークル仲間、同窓会、学校等々。また、医療を受診する機会があるならパンフレットを渡してAAのことを伝えましょう。伝えるときに手渡すためのパンフレットをいつも数部カバンに用意しておくのはいかがでしょうか。ミーティング場に「AA」と言う案内板を掲示しても、それだけでは何のことやら全くわかりません。AAのポスターをラミネートしたものを案内板と共に掲示して、地図もそこに一緒に置いておくことが出来るならとても良いメッセージや広報になるのではないでしょうか。公民館や教会等のミーティング場にもポスターや地図を置かせていただくことが可能でしょうか。責任者の方に近づいてお願いしてみるのはいかがでしょうか。グループのミーティング場の近くの方々はAAのことをよく知っていますか？その地域の方々はそこでAAがミーティングを開いていることを知っていますか？それともグループの存在そのものが知らされず隠されていますか？ミーティング場の近くの数千人の方々にミーティングが開かれていることやどんな目的でいつ開かれているのかをお知らせしたのはいつのことでしたか？

AAのポスターはAAが何かを簡潔に的確に書いてある優れものです。希望が伝わります。是非、最大限活用してみましょう。もちろん、定期的に地図の残部を補充してください。あるいは、A4用紙の6分の1の大きさに、裏表を使ってAAの目的やグループの地図を載せて連絡先を記し、それを定期的にグループのミーティング場を中心に繰り返し配布してください。そして、近隣の人々に回復者がいることを見て頂きましょう。

近隣には必ずアルコールで困っている本人や家族がいます。彼らにAAに希望の音信があることを知らせて知っていただきましょう。AAで回復できることを伝えましょう、AAに解決策があることを。広く、遠く、日本の隅々までも。ミーティングが始まる前に10分でも、20分でもみんなでビラを配布してみるのも一つの方法かもしれません。OSMや様々なフォーラムでも数千枚のビラをくまなく、みんなで会場周辺に配布するのはいかがでしょうか。

さて、過去の例を『ドクターボブと素敵な仲間たち』第15章クリーブランドにおける突然の成長（291頁）から拾ってみましょう。308頁、***しかし、それから１年がたって、私たちにもやっとわかった。クリーブランドは約三十のグループと数百人のメンバーを抱えるまでになっており、*** 続けて309頁、 ***「ようするに、クリーブランドの草分けのメンバーたちは、三つの本質的な事実を証明したのだ。それは個人的なスポンサーシップの重要性と、新しいメンバーに知恵をあたえるビッグブックの大きな価値、そしてＡＡが確実に知れ渡るようになれば、それは巨大な規模に発展することができ、また健全に成長するという大変な事実である」と、ビルは結論している。*** とあります。

つい先日、新しいグループが開かれました。これを開いたのは、70歳と80歳に手が掛かろうというメンバーです。こうした方々を見ていると正にAAの責任を果たすために命をかけているのだなと目が離せません。今、日本のAAに必要なことはまさにこれではないかと思います。AAには失敗する権利もあるのだから、失敗を恐れて尻込みするのではなく、まず行ってみること、勇気を持って前に向かって一歩足を踏み出してみること、果敢にいろいろなことにチャレンジしてみること。これが今後の日本のAAの発展の鍵だと思っています。

これからAAがどのような行動を取られるのか、どのような発展を遂げていくのか、注目して見守っていきたい。行動にはおのずと結果が付いてくるに違いありません。AAが一般の人にとっても身近な存在となり、助けを必要としている人たちの有用な社会資源として活用されていきますように。そして何よりも今苦しんでいるアルコホーリクの命の砦となりますように。

（補足的なニュース）

先日、某市立大学で啓発授業がおこなわれました。その意図は「アルコールや薬物問題について当事者の話から、学生たちがより身近にある問題であることに気づき、回復された方々に敬意を示すことにつなげる」とのこと。対象者を教養課程の1年生、2～4年生の希望者、大学生以外の地域からの自由参加として300名程度の参加がありました。

授業後のアンケートに「AAを知っていましたか？」とあり、回答者287人のうち知っていたと答えた方は14名、5%にも満たない数字になりました。また、知っていた理由を確認すると、主な回答は、アメリカの映画や小説で(3 人)や、以前の講義で(2 人)。その他は、救急の仕事で（1人）、他の自助会で（1人）等々。

この授業に参加したメンバーから「この大学のある市は人口が100万人に近く、AAグループも複数ある。それでもAAの知名度がこんなにも低い。多くの課題を感じた。」と感想をいただきました。

■各地域からお便り　～ 女性ミーティング

−:+−:+:−:+:−:+:+::+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:

JSO 新井

2017年2月、BOX－916のAA3ケ月カレンダーに記載した”女性のみ（男性参加不可）”を読んだ仲間から電話がありました。***回復したいと願っている人はどんな人であっても拒んではならない***（伝統3長文より）と。これを受け次号は”女性を歓迎します”に修正しました。

この一連に関わった私は、求人案内に見る”女性が活躍する職場”に似た表現の難しさを感じました。『AAサービスマニュアル』10頁には、 ***どのサービスについてもわれわれが考えるのは１つのことだけである。「このサービスは本当に必要かどうか？」。必要と***

なればそれをやっていかなければならない。さもなければ、ＡＡを求めＡＡを必要とする人々に対するわれわれの使命が果たせなくなる。 とあります。

今回、5名のメンバーから投稿をいただきました。投稿から、自身のためなのはもちろん、まだ苦しんでいる仲間のために必要との思いが伝わってきたように思います。

なお、クローズドミーティングは、『AAグループ』13頁に *ＡＡメンバーだけ、もしくは飲酒に問題があり「飲むのをやめたいという願望」のある本人だけが参加できるミーティングである。* とありますが、ダブルクローズドミーティングの説明は、AAの書籍、パンフレット類からは見つかりませんでした。

また、ニューズレター173号には、第23回WSMでチリA類常任理事のマリア・P氏がスピーチした「文化的背景が女性の参加を妨げている時」を掲載しましたので、合わせてご一読ください。ホームページでもお読みいただけます。検索ワード「ＡＡニューズレター」

その存在を知ったのはラウンドアップの女性ミーティングでした。

−:+−:+:−:+:−:+:+::+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:

北海道　ミホ

北海道にもいくつか、女性クローズドミーティングやヤングクローズドミーティングがありますが、私が住んでいる町に唯一あるのは自分のホームグループだけです。ですから、その存在を知ったのはラウンドアップの女性ミーティングでした。確かに、女性特有の悩みを共感しやすく、男性に恐怖体験がある仲間にとっては大切な場所だと感じました。ヤングミーティングも同様で、自分の親より年上の仲間と共有するには難しいところがあり、こちらも大切な場所だと思います。特に、初めて来る仲間にとって、通常のミーティングより来やすい、メッセージを伝えやすい重要な集まりだと思います。

北海道地域の集会で確認されていることは、今日飲んでしまいそうだからと駆け込んできた仲間は、老若男女かかわらず、ダブルクローズドミーティングだとしても受け入れること。ということです。

女性ミーティングで集まった献金は、グループのビジネスミーティングで報告され、全体の献金と合わせてそれぞれに振込みなどをしています。その集まりがグループを編成している場合は、代議員の登録、献金なども他のグループと同じようにお願いしています。

また、オープンの場所、ラウンドアップやセミナーなど、特に関係者も来る場合は「女性ミーティング」「ヤングミーティング」とし、クローズではありません。

北海道では数少ない女性クローズドミーティング、ヤングクローズドミーティング。維持してくださっている仲間に感謝しています。

AAのサービスを初めて経験したのも女性ミーティングです。

−:+−:+:−:+:−:+:+::+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:

神奈川　まさみ

AAミーティングへの参加がまだ数回の頃、ホームグループやスポンサーシップ、ミーティングの種類や書籍のことなどを経験として話してくれたのが女性ミーティングです。それからのミーティングではAA独特の用語が出てきても興味を持って聞く事が出来ました。何度か通ううちに何人かのメンバーが連絡先を教えてくれて「飲みたくなったり困ったことがあったらいつでも連絡してね。」と言ってくれてとても安心したことはずっと忘れないでしょう。

また女性特有の病気や悩みについてミーティングで話が出来ることは大きな支えになっています。具体的な病名や症状は男性がいる中ではやはり話しにくいものです。今でも経過観察を続けている病気がいくつかあります。「酒止めてもこんなもんか！」と自暴自棄になりそうな時もありましたが、分かち合いの中で同じ病気を抱えている仲間の話を聞いて踏みとどまることが出来ました。

AAのサービスを初めて経験したのも女性ミーティングです。初めてのメッセージ、初めての会場チェアパーソン、役割を持っての初めてのビジネスミーティング。ソーバーが3～4ケ月の頃でした。まだスポンサーも決まっていなかったので女性メンバーが全面的にバックアップをしてくれたことがとても心強かった。少し遅れて6ケ月の頃にはホームグループでも役割をさせて頂きました。

今では環境も大分変わりミーティングの回数は減ってしまった私が、今でも365日何らかの形でAAと関わり続けていられるのは、これらの経験のおかげです。頂いたものは新しい人たちに！繋いでいきたいと思っています。

まだまだ「女のくせに」「女のアル中」「母親なのに」と言われる事も少なくないのです。

−:+−:+:−:+:−:+:+::+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:

八王子Ｇ　ツカモト

私が参加している南多摩地区八王子グループの女性ミーティングについて紹介します。毎週水曜日、15時20分～16時50分に開催しています。参加メンバーは、病院のプログラムとして参加される方もいて7～10名くらいでしょうか。昼の時間帯ですのでお子さんを連れて来てくれる方もいます。夜のミーティングは、お子さんが小さい場合残念ながら家族からAA参加を反対される事も希ではないと思われます。

女性だから特別扱いをして欲しいというのではなく、同じ病気ではあってもまだまだ「女のくせに」「女のアル中」「母親なのに」と言われる事も少なくないのです。男性も参加しているミーティングでは話しにくい事も分かち合う事ができます。初めて来た方も仲間との共感から始まるミーティングであればと願っています。

地区をまたいで交流する機会も増えるため同性のスポンサーも探しやすいようです。また女性の支援者も参加歓迎しています。

献金について。グループで行っている週7回のミーティングの1つなので、女性ミーティングの献金もビジネスミーティングで報告されグループの会計で対処しています。

男性メンバーが来た場合でも、すべてオープンなので「どうしても今、ミーティングにでなければ飲んでしまう」というのであれば参加

していただきます。しかし先に述べたような様々な事情を理解して頂き、皆様の良心に支えられ今までは、何が何でも参加したいという方はいませんでした。今後共ご理解、ご協力の程よろしくお願いします。

淡路島で苦しんでいる女性にメッセージを運ぶため

−:+−:+:−:+:−:+:+::+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:

おのころレディース　鏡

兵庫県の淡路島で苦しんでいる女性にメッセージを運ぶため、私を含め4名の島外メンバーで、2017年2月から毎月第2木曜日に洲本市にてレディースミーティングを開催しています。飲酒に問題を抱えている女性、家族、医療行政等関係者、AAの回復のプログラムに関心のある女性であればどなたでも参加できます。

このレディースミーティングで集まった献金は、今のところ、会場使用料等をお支払いした残金を予備金としています。また、ミーティングに参加したいという男性メンバーが来られたという経験はまだありません。

関西地域でレディースミーティングが始まったのは1987年です。そして2017年6月現在で19会場。通常ならば1ヶ月の内で第1金曜日と第3土曜日以外は、関西地域のどこかでレディースミーティングが開催されていることになります。

私事ですが、最後の飲酒から5日後の2004年8月25日に初めてAAミーティングに参加し、その2日後にホームグループを持ち、ソーバー3ヶ月からスポンサーシップをしていただいています。そして、9ヶ月の時に初めてレディースオープンステップセミナーに参加し、ステップ4、5を話させていただきました。

2015年2月に行われたAA日本40周年記念集会の女性ミーティングでは、つながり始めの頃に女性メンバーが「何年経っても最初の一杯から一歩のところ」と話されるのを聞いて愕然としましたが、飲まなくなって10年6ヶ月を迎えたこの頃、ようやくそのことを実感し始めていることの喜びを話させていただきました。

私はレディースミーティングから、嫌悪してきた女性性に向き合っていくために必要な力を与えられてきました。これまで参加させていただいてきたレディースミーティングについて振り返り、改めてどのようにして自分が救われてきたかを心に刻む機会をいただきましたこと、感謝申しあげます。

「私みたいになったら駄目だ。」と話してくれました。

−:+−:+:−:+:−:+:+::+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:+:−:

なごみＧ　じゅんこ

熊本地区なごみグループの女性クローズドミーティングをご紹介します。2012年から熊本地区合同の女性クローズドミーティングとして、毎月第2月曜日の夜7時から8時半まで、きくよう地域生活支援センターの一室で開始しました。しかしながら、合同で開催してくことが困難となり、2014年4月14日から、なごみグループの一つの会場として、同じ日時で引き続き開催しています。

きくよう地域生活センターは、アルコール依存症の専門病院の敷地内にあります。女性の入院患者さんが通いやすいよう、さらに、AAという回復のツールを使って一緒にお酒を止めていく女性メンバーが増えて欲しいとの願いを込めてこの場所を選びました。
関係者の皆様には快く会場を貸して頂き厚く御礼申し上げます。

さて、では地区の女性メンバー数は飛躍的に増えたのか？と言いますと、残念ながら、そのようなことは起こりません。年に2、3人がAAに繋がり、その中から継続してミーティングに通い続ける回復者が1人出現します。その姿こそが私自身の飲まないで生きる力となっています。

参加者は多い時で5、6人、時には私一人の時もあります。一人の時はとても孤独ですが、会場を開け続けていれば仲間は必ず訪れますし、開け続けることで、孤独に耐えうる強さを頂いています。

独りの時に思い出すのは、今は亡きある女性メンバーです。酒でボロボロになった身体を押して、何を置いても月に一度のミーティングに駆けつけてくれました。涙を流しながら参加している皆に「私みたいになったら駄目だ。」と話してくれました。彼女の存在があったので、孤独を感じることもありませんでした。

女性クローズドの特徴でしょうか、泣きながら話をされる方がとても多く、お酒を止め始めた頃の自分の姿と重なります。

参加者は入院患者さんが多いので献金は殆どありません。献金がある時にはグループの会計に入れ、グループ全体での取り扱いとなり、帳簿はグループに一つだけです。

男性メンバーが間違って来られたり、緊急性がある場合は、大歓迎でお迎えしています。ただ、女性目当てで毎月来られる場合は、女性クローズドミーティングであることを説明しお断りしています。

一番悩んだのは、依存症の専門病院ということもあり、「アルコールには問題がないのだけど、根っこは同じだからギャンブル依存症の女性を参加させてもらえないか？」と、スタッフからの要望があった時でした。心苦しく思ったのですが、お断りさせて頂きました。というのも、GAミーティングが同じ敷地内で開催されているからです。勿体ないですよね。同じ病気の仲間だからこそ、苦しみや囚われの経験や希望を分かち合えるのですから。アルコールにも問題がある女性でしたら大歓迎とお伝えしました。

そんなこんなで、ドタバタしながら5年が過ぎて行きました。近くにお越しの際は是非お立ち寄り下さい。待っています。

編集：ニューズレター編集委員会・発行：ＮＰＯ法人ＡＡ日本ゼネラルサービス

〒171-0014 東京都豊島区池袋 4-17-10 土屋ビル 3F　Tel:03-3590-5377　Fax:03-3590-5419
http://www.aajapan.org　jso-1@fol.hi-ho.ne.jp
(月～金)10:00～18:00（土・日・祝）休